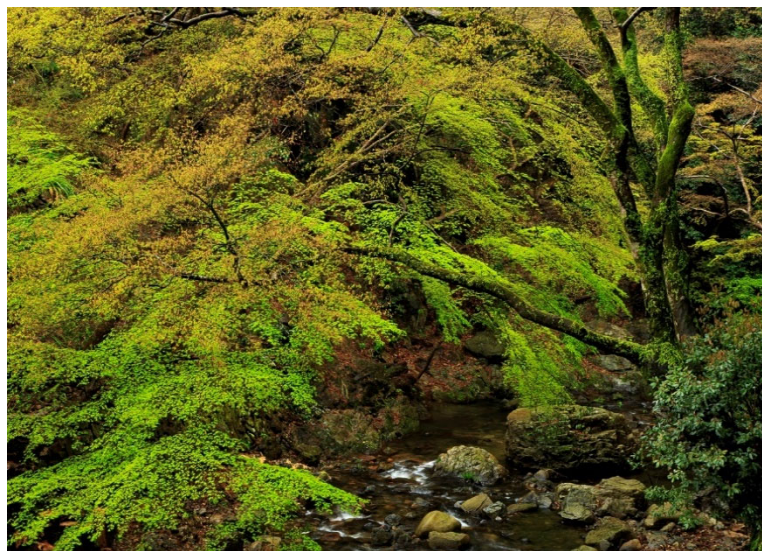




発行：NPO法人みのお山麓保全委員会 2020年(令和2年)4・5・6月号

四季折々に美しい山なみ景観

かけがえのない森の恵み そして自然の脅威



四季折々に美しい山なみ景観は、心の安らぎや憩いの場を与え、私たちの暮らしにうるおいをもたらしてくれます。

森はきれいな空気を育み、手入れがされた森は土砂の流失を防ぎ、雨が降っても水を蓄え、私たちは「森の恵み」に支えられて生きています。

箕面の森は、かつては人の手が入り、持続可能な活用がされていた里山でした。今では経済的な価値がなくなり放置されています。

また、近年、増えすぎたシカに食べられて、下層植生が貧弱になり、裸地状態になっているところも増えています。

かけがえのない森の恵み、大きな被害をもたらす自然の脅威。地球温暖化による影響に上手に適応するためには、森が持つ土砂の流出・崩壊の防止、水源かん養などの機能を改善する活動が大切です。

箕面の森では、たくさんの野鳥が子育てをしています。

都市近郊にありながら自然が残されている箕面の森。春から初夏の新緑が美しい季節。その新緑を食べる虫たち、その虫をエサとして子育てをするたくさんの野鳥たち。生きるためのたくさんのドラマがあります。



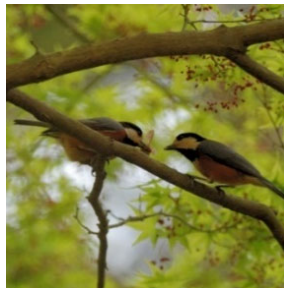
オオルリ



キビタキ



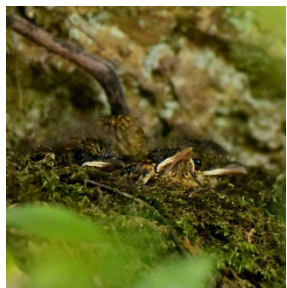
サンコウチョウ



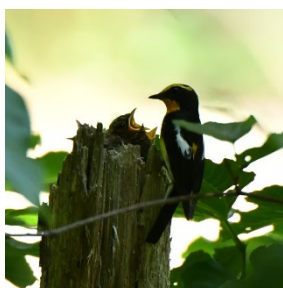
ヤマガラ



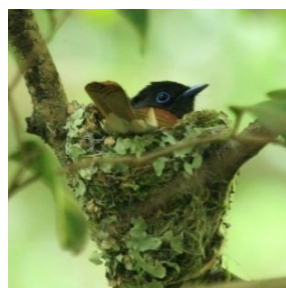
シジュウカラ



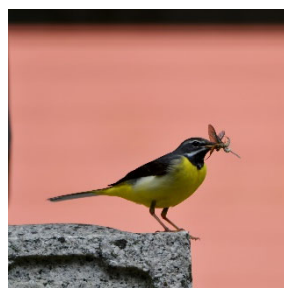
オオルリの巣



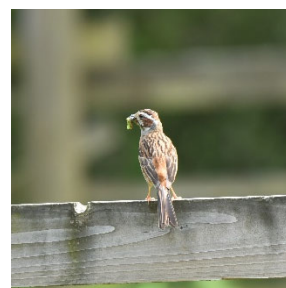
キビタキの巣



サンコウチョウの巣



キセキレイ



ホオジロ

たびたび苦しめられてきた 箕面の自然災害の歴史

自然災害の防災・減災を考えるには、急峻な地形や断層の多い地質、過去の災害の歴史を知るなど、地域の特性を理解することが大切です。箕面でも過去の災害を記録する石碑が残されています。



昭和42年広報みのお
表紙は 自衛隊出動の写真



山麓部の取池(白島)に
残されている記念碑

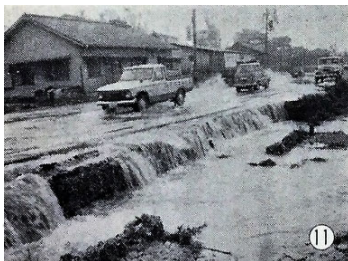
昭和42年(1967年)、北摂を中心とした集中豪雨では、箕面でも幼児や消防団員など4名が亡くなるなどの大きな被害を受けました。(1日255mmの雨量)

導心ヶ池(白島)では堤防の決壊を食い止めるために自衛隊が出動しました。近くの取池には災害を記録する記念碑が残されています。



箕面公園に残されている石碑

昭和26年(1951年)の水害では、箕面町警察署長だった合田百一さんが、箕面大滝近くの茶店にいる人を助けようとして、濁流にのみ込まれて亡くなりました。

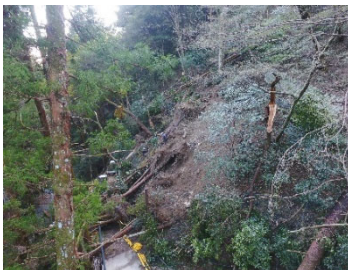


国道171号線も水浸し(瀬川)



箕面川の増水被害(桜ヶ丘)

昭和9年(1934年)の室戸台風や昭和10年(1935年)・13年(1938年)の集中豪雨でも大きな被害を受けました。



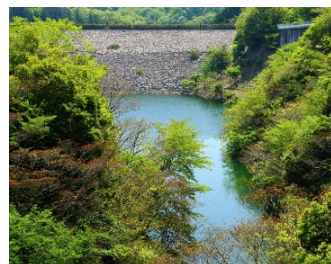
箕面公園では、2017年10月、2018年9月の台風21号により大きな被害を受け、約1年間滝道が通行止めとなりました。

水をたくわえ 洪水を防ぎ 山くずれを防ぐ 森林が持つ公益的な機能



画像提供:大阪府みどり推進室

今後も気候変動が進み、極端な気象現象の発生が予測されます。箕面の住宅地の背景には、急峻な山間・山麓部があり、過去にも大きな自然災害に苦しめられてきました。



昭和42年(1967年)の北摂豪雨による大きな被害を受けた後、昭和57年(1982年)に、治水のために、自然景観や環境に配慮した箕面川ダムが完成しました。

森林が持つ持続可能な防災・減災機能を引き出し、活用することが重要です。

防災、減災のために、ダムのようなインフラ整備だけでなく、森林が持つさまざまな機能をうまく組み合わせて、お互いに補い合うことが、有効な対策の一つとして期待されます

災害に強い森づくり「こもれびの森」での植樹活動が始まりました。

3月15日「こもれびの森」の植樹活動、新型コロナウイルスの影響により一般参加は中止しましたが、落葉広葉樹の植樹は、この時期を逃がすと1年後になるため、感染症の拡大防止を前提として、関係団体のスタッフだけで行いました。植樹した木が大きくなるのは数年後ですが、森づくりの活動が始まっています。



イロハモミジ53本を植樹(防鹿柵の中)



2017年10月台風の被害



生活環境保全林の指定



防鹿ネットを設置



どんぐりがなる木 30本を植樹(防鹿柵の外)

2017年10月の台風21号の被害、「こもれびの森」では、3ヶ所の谷筋南斜面でスギ・ヒノキ林の多くが、強風により倒れるなど大きな被害を受けました。

2019年8月から大阪府が作業道を作り重機を入れて風倒木を搬出し、被害地周辺には防鹿用の金柵を設置しました。

「こもれびの森」は、平成2年に「生活環境保全林」に指定されています。

「生活環境保全林」として、市民に憩いの場を提供する「保健保安林」の機能、及び下流のまちを土砂災害の危険から守り、自然災害を防止する「土砂災害防備保安林」の機能発揮が求められています。

防鹿柵内の斜面地や作業道、柵外の作業道など、環境の違うエリアごとに一定の方針を考えて、経過観察を行いながら、柔軟に方針を検討しながら進める予定です。

■こもれびの森づくり現地検討会
5月6日(水・祝)午前10時～午後2時ごろ
集合:箕面ビジターセンター※要申込

ハイキング道の安心・安全 「箕面の森の案内図」などの設置活動

みのお山麓ファンドの特別助成に採用された「箕面の森の案内図」の整備事業(明治の森箕面自然休養林管理運営協議会)、3月下旬までに全26ヶ所での設置を完了し、あわせて「緊急ポイント」を明示した「箕面の森の道標」の設置も完了しました。箕面の森を歩くハイカーの安心・安全に寄与することが期待されます。



破損した大型案内板



箕面の森 案内板



箕面の森の道標



箕面の森の案内図

国や府、市が設置した山間・山麓部の大型の案内地図板、破損したり、地図情報が更新されていないものも多くあり、課題となっていました。

課題を受けて、協議会では、既存の構造物をそのまま活用することにより、費用の低減を図るとともに、軽量アルミ板の案内図を貼り付け、緊急ポイント、フィールドマナーも記載しました。

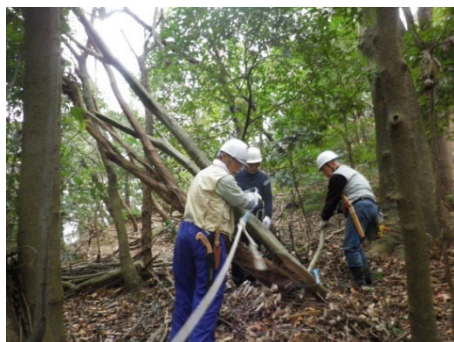
既存の「箕面の森の案内板」58ヶ所に加えて、新たにハイキング道の多くの分岐点に「箕面の森の道標」を設置し、「緊急ポイント」を142ヶ所に拡大しました。

この「緊急ポイント」、箕面市消防本部と情報を共有しています。緊急ポイントのナンバーを伝えることにより、事故や事件発生時の迅速な対応が可能となります。

また、倒木や道の崩落など、自然災害が発生したときに、位置を伝える情報として活用することが可能です。

箕面の森の案内図(26ヶ所)
総事業費:1,600,000円、助成金額:1,261,190円

箕面の森を守る！山林整備ボランティア養成講座－4月25日(土)開催－



養成講座を受けて、箕面の山で楽しく活動しませんか！
初めての方でもベテランの山林整備サポーターと一緒に安心です。
近くの山林で、倒木の処理や間伐など、山の手入れのボランティアとして活躍することができます。

山林整備サポーター ボランティア養成講座

☆2020年4月25日(土)午前10時～午後3時 ※雨天順延5月23日(土)

☆集合場所 箕面市栗生外院5丁目「皿池公園」

☆午前・・・基本的な技術や安全知識を学ぶ講義

午後・・・近くの民有林で、倒木処理や間伐を体験

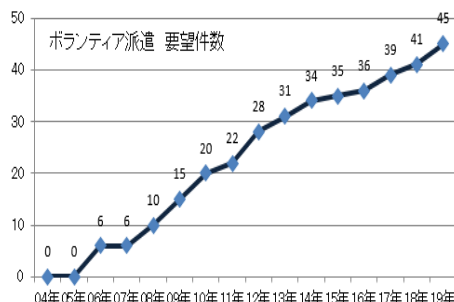
(作業は手鋸のみで、チェーンソーは使いません)

※参加費は無料。事前申込(先着20名)が必要。

《山林整備サポートとは》

山林所有者が高齢だったり、遠隔地に住んでいるなどの理由で、山林の手入れが出来ない場合に、所有者からの要請を受けて、倒木の処理や間伐など、山の手入れを行うボランティアを派遣する仕組みです。

毎年、山林所有者からの派遣要請が増えており、要請に応えるために、山林整備サポーターとして楽しく活動していただきたいと思います。



山とみどりのフェスティバル 秋の日程を決定

山とみどりのフェスティバル(体験フェア)

☆2020年11月3日(火・祝)午前10時30分～午後3時

☆箕面駅前広場、箕面公園瀧安寺前広場など

☆自然工作や体験、みどりを守る活動の紹介など

災害に強い森づくりフォーラム

☆2020年10月18日(日)午後1時～午後3時15分(予定)

☆箕面文化・交流センター(箕面駅前サンプラザ1号館8階)

☆シカ害防止の活動と生物多様性の保全など(予定)



体験フェア



森づくりフォーラム

第16回 みのお森の学校～人と自然の入門講座～受講生募集

☆2020年9月20日(日)～2021年6月13日 全11回

☆定員:20名(申込順) ☆受講料:13,000円

※特典:受講生に野鳥(カワセミ)のブローチを進呈

森や自然のこと、もっと知りたい学びたい人のための入門講座。実習と講義の連続講座だから、森を楽しむ新しい仲間にも出会えます。卒業生は森で活躍しています。



野鳥のブローチ



NPO法人みのお山麓保全委員会の定期総会－5月31日(日)開催－

☆2020年5月31日(日)午前10時～11時50分(予定) 総会終了後 懇親会

☆場所:箕面文化・交流センター(阪急箕面駅前サンプラザ1号館)4階会議室

☆2019年度の事業報告、2020年度の事業計画と予算、役員の改選など

※会員以外の方も傍聴自由です。(事前申込が必要)



NPO法人 みのお山麓保全委員会

〒562-0001箕面市箕面6-3-1 みのおサンプラザ1号館2階211号室

電話&FAX:072-724-3615 携帯電話:090-1133-3615

メール:yama-nami@yama-nami.net

ホームページ: www.yama-nami.net(検索:山なみネット)

* 箕面の山麓保全情報のポータルサイト「みのお山なみネット」